

# ～駅のホームの安全性向上にむけて～

## 山陽新幹線においてホームと車両の 段差・隙間縮小を展開していきます。

JR 西日本では、より安全に安心して鉄道をご利用いただけるよう、駅のホームにおける安全性向上を重要な経営課題ととらえ、ハード・ソフトの両面からさまざまな取組みを進めております。

山陽新幹線の駅において、ホームの“かさあげ”と“くし状ゴム”を整備することでホームと車両の段差・隙間縮小を行い、ご利用しやすい環境を整備いたします。

※JR 西日本グループでは、これらの取組みを通じて、シームレスで便利な移動を提供し、「駅ビジョン」に掲げるイノベーションやお客様サービスの変革を進めてまいります。

([https://www.westjr.co.jp/press/article/items/240904\\_00\\_press\\_Ekivision\\_1.pdf](https://www.westjr.co.jp/press/article/items/240904_00_press_Ekivision_1.pdf))

### ホームと車両の段差・隙間縮小の整備計画

2025年度末時点で2駅4のりばにホームと車両の段差・隙間縮小の整備を目指します。

○整備計画

駅名	番線	使用開始時期
岡山駅	22・23	2026年3月20日
広島駅	11・14	

※今後もホーム柵設置に合わせて整備する予定です。

※使用開始時期は、工事の進捗状況により変更することがあります。決まり次第、ホームページ等にてお知らせいたします。

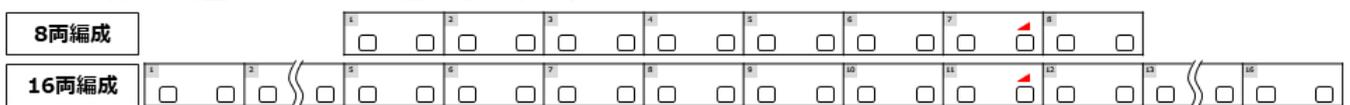
[参考例] [大阪環状線 ホームと車両の段差・隙間の状況及び対策実施箇所について](#)

(<https://www.westjr.co.jp/company/action/service/barrierfree/pdf/Kanjyo.pdf>)

○対象車種：700系・N700系・N700S系を対象に段差3cm、隙間7cmを目指します。

○ドア位置：16両編成11号車の東京寄りドア・8両編成7号車の東京寄りドア

※車内多目的室手前のドア位置となります。



[凡例] 1 …車両番号 □ …ドア位置 ▲ …段差・隙間縮小箇所

○設置イメージ

【くし状ゴム】



【対象ドア位置の案内表示案】



【対象ドア位置の案内表示案：拡大】



※設置イメージは変更となる場合があります

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に9番、10番、11番に貢献するものと考えています。

